

利用案内

開館時間 午前10時～午後5時
※入館は午後4時30分まで

休館日 毎週日・月曜日、祝日、年末年始

観覧料 無料

交通案内

バス 市バス「農学部前」下車徒歩3分・「騎射場」下車徒歩10分・鹿児島交通バス「騎射場」下車徒歩10分

市電 「騎射場」下車徒歩10分・「工学部」下車徒歩7分

J R 「鹿児島中央駅」よりバス・市電で15分

自動車 九州自動車「鹿児島IC」より15分

※自家用車でお越しの際は農学部正門よりお入りください(平日のみ)。

鹿児島大学
総合研究博物館

常設展示室

TEL099-285-7259



鹿児島大学総合研究博物館

The Kagoshima University Museum

〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-30

TEL099-285-8141 FAX099-285-7267

<http://www.museum.kagoshima-u.ac.jp>

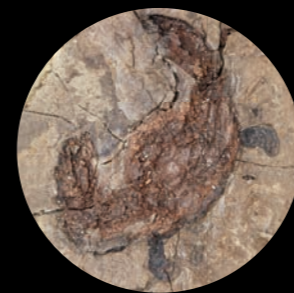


鹿児島大学

総合研究博物館 常設展示室



The Kagoshima University Museum
Exhibition Room



鹿児島大学総合研究博物館
The Kagoshima University Museum



鹿児島大学では、様々な分野の研究が行われ、多くの学術資料が集められてきました。総合研究博物館は、その資料を収集、整理、保管し、教育や研究に役立てるための活動を進めています。

当博物館では資料を公開し、研究の成果をわかりやすくお伝えるため、常設展示室を2004年5月に開設しました。その特徴は、中身だけでなく、建物そのものも鹿児島大学の歴史を語る大切な資料になっていることです。1928年(昭和3年)に建設された建物を、できるだけ当時の雰囲気を残しながら改装し、展示のためのスペースとしました。2006年には国の“登録有形文化財”に登録されています。

みなさまのご来館を心より歓迎いたします。

なお、常設展示室のまわりには、奄美の高倉、玉利喜造像、農学部植物園などもあります。あわせてご覧ください。

鹿児島大学 総合研究博物館の催し

研究交流会 /年1～2回・参加自由・無料

テーマをもとに、学内外の研究者が講演を行います。

市民講座 /年2回・参加自由・無料

さまざまな研究分野のトピックをやさしく紹介します。

自然体験ツアー /年1回・要申込み・実費

野外に出かけて実物にふれる参加型セミナーです。

特別展 /年1回・毎年秋期・参加自由・無料

毎年特徴的な学術資料を選び、約1ヶ月間公開します。

※上記以外にも各種イベントを行っています。くわしくはホームページをみるか、展示室案内係または博物館事務室までお問い合わせください。

site A

Archaeological Sites in Kagoshima University

古代からのおくりもの 鹿大に眠る遺跡

今、われわれが立っている鹿児島大学構内はいくつもの時代を経て現在に至っています。郡元、桜ヶ丘の両キャンパスはともに、過去の人々がさまざまな活動をした「遺跡」です。大学構内ではこれまで継続的に発掘調査が行われ、古くは旧石器・縄文時代から、新しくは江戸・明治時代までの考古学資料が出土しています。

とくに古墳時代には、南九州を代表する大規模な集落が営まれました。ここでは、この時代の土器などの資料を中心に紹介します。



site B

Education and Research History

鹿大の教育研究史

大学での教育や研究には、さまざまな実験機器類や計算機などを使います。

ここでは、鹿児島大学(1949年～)の前身である第七高等学校造士館(1901～1949年)や鹿児島高等農林学校(1908～1949年)時代の機器や資料を中心に紹介しています。いずれも明治末から昭和期の教育・研究のようすを知るうえで貴重なものです。



site C

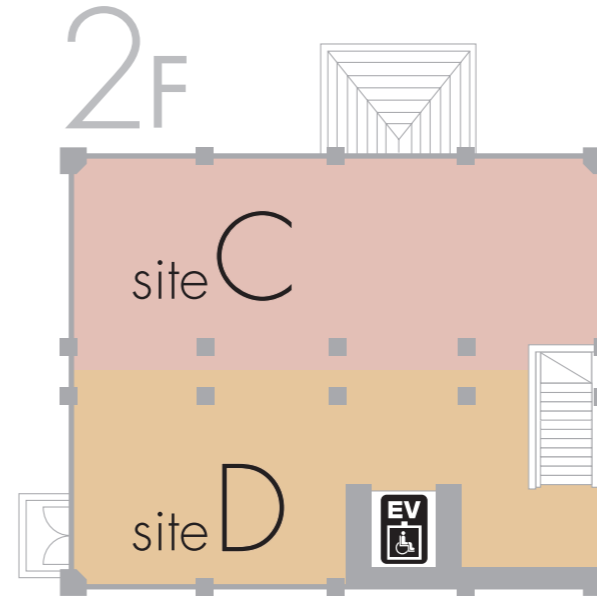
Mineral Resources of the Earth

地球のめぐみ

ここでは、地球がもたらした鉱物資源・地質標本にスポットをあてました。35億年前の海で生物が酸素を放出しはじめました。その酸素と鉄イオンが結びついてできた鉄鉱石の標本をさわってみませんか？

また、鹿児島はマグマと熱水のめぐみによって金が日本でもっとも多く採れる場所です。日本全国から集められた金鉱石の展示を見て、鹿児島県が日本一の金の産出量を誇ることをぜひ実感してください。

登録有形文化財



site D

Marine Fossils from Kagoshima

鹿児島の海と生命の歴史

鹿児島県は南北およそ600km、九州南部から与論島へいたる島々を含んでいます。この細長い鹿児島県とその周辺には、恐竜やアンモナイトが生きていた中生代から、人類の時代である第四紀にかけて海に堆積した地層が分布しています。これらの地層から見つかったアンモナイト、二枚貝、巻貝、カニ、サメの歯や魚の化石を展示しています。太古の海をすみかとした生き物に思いをはせてみてはいかがでしょうか。

